

Japanese U.M. Laid-open Publication No. 3-58229

TITLE OF THE INVENTION: COFFEE EXTRACTOR

CLAIM:

A coffee extractor 6 comprising a container body 1 formed of thin-walled synthetic resin, and a coffee containing part 3 having a smaller diameter than said container body and continuously formed under said container body via a stepped part 2, said coffee containing part containing a predetermined amount of ground coffee between filters 4, 5 stretched at upper and lower ends thereof,

characterized in that said container body is provided with vertical pleats 7 at a peripheral face of its lower half part, and a folding line formed at an upper edge 8 of said vertical pleats, whereby said peripheral face provided with said vertical pleats is folded back at said folding line into said container body, thereby enabling said coffee containing part to be stored in said container body.

公開実用平成 3-58229

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-58229

⑬ Int. Cl.

A 47 J 31/06
31/02

識別記号

庁内整理番号

A 6946-4B
6946-4B

⑭ 公開 平成3年(1991)6月6日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 コーヒー抽出器

⑯ 実 願 平1-117892

⑰ 出 願 平1(1989)10月5日

⑱ 考 案 者 佐 戸 信 男

大阪府茨木市北春日丘1丁目21番21号

⑲ 出 願 人 ハ マ ヤ 株 式 会 社

大阪府大阪市中央区瓦屋町2丁目5番20号

⑲ 出 願 人 大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 立川 登紀雄

明 細 書

1. 考案の名称

コーヒー抽出器

2. 実用新案登録請求の範囲

薄肉合成樹脂製の容器本体の下に、段部を介して、上下にフィルターが張設されこれらの間に所定量の挽きコーヒーを収納している前記容器本体よりも小径のコーヒー収納部が連設されたコーヒー抽出器において、前記容器本体の下半分の周面部に縦襷が設けられて該縦襷の上縁部に折目線が形成され、該縦襷を設けた周面部をその上縁の折目線から容器本体の内側へ折り曲げてコーヒー収納部を該容器本体内部へ収納せしめてなるを特徴とするコーヒー抽出器。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は一人前の飲用に適したコーヒーが簡易に得られる使い捨てタイプのコーヒー抽出器に関するものである。

(従来の技術)

一人前の飲用に適したコーヒータンブラーが簡易に得られる使い捨てタイプのコーヒータンブラー抽出器としては、実開昭51-18780号公報が知られている。

(考案が解決しようとする問題点)

上記従来のコーヒータンブラーは使用時の形態と包装時における形態とが同じであるため、1個ずつあるいは数個をまとめて包装するいずれの包装形態においても包装材料を多量に消費し、包装箱も大きくなるため、包装費や運送費のコストアップを招き、また、商品陳列、保管スペース等においても嵩張り著しく不都合である。

そこで、本考案では包装時には、扁平状でコンパクトな形状に変形し、使用時には従来同様の形態となすことができるコーヒータンブラー抽出器を提供するものである。

(問題点を解決するための手段)

本考案は熱湯を注入するカップ状の容器本体と、該容器本体の下部に段部を介して連設された挽きコーヒータンブラーを収納する該容器本体よりも小径のコーヒータンブラー収納部を薄肉合成樹脂でもって形成されてな

るものにおいて、該容器本体の下半分の周面部に縦皺が設けられて該縦皺の上縁部に折目線が形成され、該縦皺を設けた周面部をその上縁の折目線から容器本体の内側へ折り曲げ可能となし、包装時に、この縦皺を有する周面部を容器本体の上部周面部内に収容された偏平でコンパクトな状態に変形でき、また、コーヒーを抽出するときは、コーヒー収納部を前記容器本体の下に押し出し復元できるようになしたものである。上記した縦皺のピッチは特に限定を要するものではないが2～6mm程度が適当である。

また、コーヒー収納部を容器本体内へ押し込んだり、押し出すことのできる柔軟性を有する本考案のコーヒー抽出器を形成する肉薄合成樹脂としては、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリアミド等の汎用の熱可塑性合成樹脂が適用できるが、加工性等から、ポリプロピレン、ポリエチレン等のポリオレフィン系合成樹脂が好ましく、また、その肉厚は0.3～0.8mm程度が良好である。尚容器本体は円筒形状に限定されるものではなく、

例えば角部をゆるい弧曲とした六角形、八角形等の多角形状としてもよい。

(作用)

縦襷は、該縦襷を形成した容器本体下部の外周部の円周長さの伸縮を可能にし、該縦襷部分に容器本体の内側への折り込み外力が加えられると、該部分の円周長が収縮して折り込み時に壺を吸収する作用を奏し、それによって無理なくスムーズにコーヒー収納部を容器本体に折り込ませることができる。また、容器本体内に位置せしめたコーヒー収納部に押し下げ外力を加えると、同様に縦襷部が伸縮してコーヒー収納部をスムーズに下方に移動させることができ、形崩れを起こすことなくコーヒー液抽出時に必要な形態に復元させる作用を奏する。

(実施例)

以下本考案の実施例を示している図面について説明すると、薄肉なポリプロピレン樹脂製のカップ状の容器本体1の下部に水平な環状の段部2を介して所定量の挽きコーヒーCが収納されている

容器本体 1 よりも小径のコーヒー収納部 3 が連設され、該コーヒー収納部 3 の上面及び開口 3 A を備えた底面にそれぞれフィルター 4、5 が配設されてなるコーヒー抽出器 6 において、前記容器本体 1 の下半分の周面部に縦襷 7 を形成して該縦襷 7 の部分をその上縁部 8 から内側に折り曲げ可能となし、該縦襷 7 の存在する周面部を容器本体 1 の内側に折り曲げることにより、第 3 図に示しているように、コーヒー収納部 3 が容器本体 1 の内側に変位収納できるようになしたものである。

(考案の効果)

このように本考案は、容器本体 1 の下半分の周面部に縦襷 7 を設けその上縁部 8 から折り曲げ可能に形成したものであるから、該縦襷 7 の部分に容器本体 1 の内側へ折り曲げ外力を加えると、該縦襷 7 の伸縮作用により縦襷部がその上縁部 8 から内側へ折り曲げられて、コーヒー収納部 3 は第 3 図に示す如く容器本体 1 の内側へ収納されてコーヒー抽出器の全体の高さ寸法が 3 分の 1 程度嵩低い偏平形状のコンパクトになる。

従って、この状態（第3図）で、1個ずつ個別に、又は数個をまとめて包装するいずれの包装形態においても、包装が従来より著しく小さくなり、包装費や運送費が安価となり且つ運搬や保管、商品陳列等にスペースをとらず頻る好都合となる。そして、使用に際しては、コーヒー収納部3を下方へ押圧すると、縦襷の伸縮作用によって無理なくスムーズにコーヒー収納部3が容器本体1の下に押し出されるので、コーヒーカップ上に載置してコーヒー液の抽出作業を行うことが可能となる。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示したものであって、第1図はコーヒー収納部が容器本体の下に突出している状態における斜視図、第2図は同一部断面正面図、第3図はコーヒー収納部を容器本体内へ押し込んだ状態における一部断面正面図である。

1 … 容器本体、

2 … 段部、

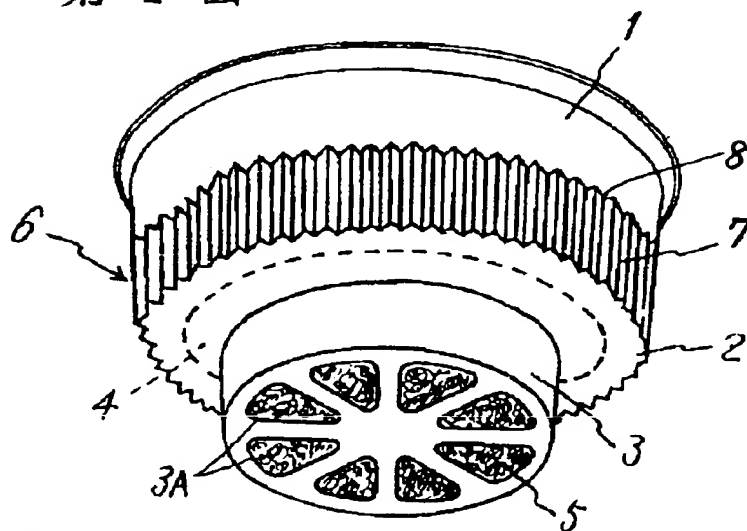
3 … コーヒー収納部、

4、5 … フィルター、

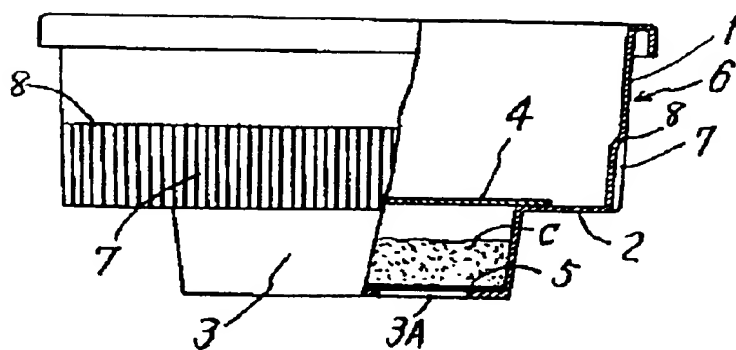
6 … コーヒー抽出器、

7 … 縦襷。

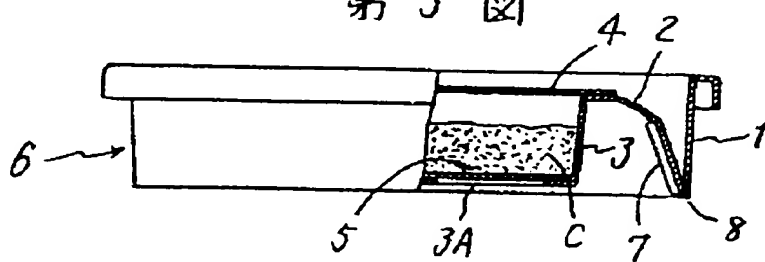
第 1 図



第 2 図



第 3 図



実開 3 - 58229

実用新案登録出願人 ハマヤ株式会社
 実用新案登録出願人 大日本印刷株式会社
 代理人 立川 登紀雄